

わいわい組保護者会

2026.4.1(火) 16:15~

本日の内容

- わいわい組の年間目標について
- 個の育ちと集団の育ち
- わらす組に進級したら・・・

お知らせとお願い・ご理解いただきたいこと

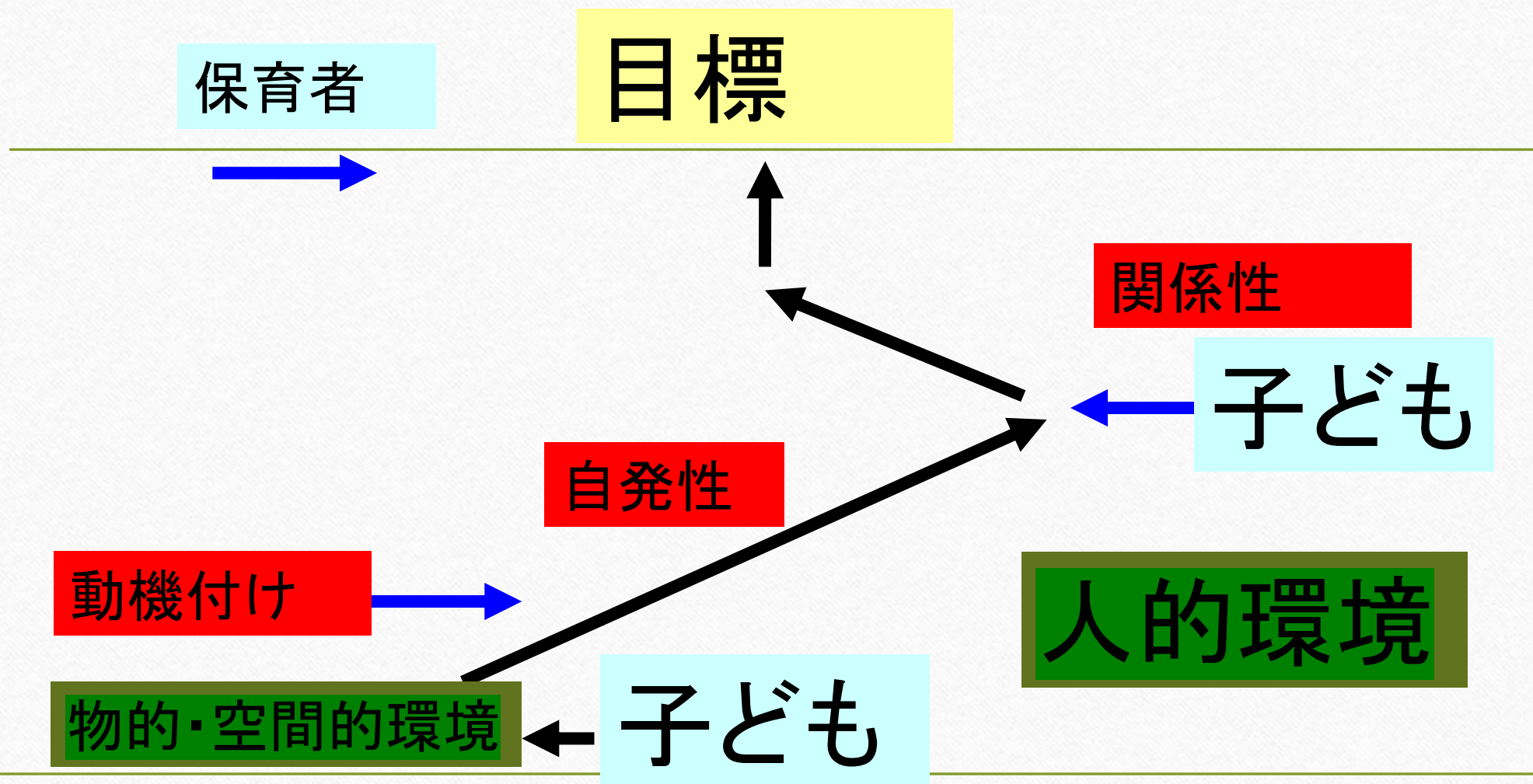
にこにこ組 年間目標

- ①集団の中の「一人ひとり」が大切にされることで“自分でやりたい”という意欲が育ち、食事・排泄・清潔・衣類の着脱などの**基本的な生活習慣が身につく**。
- ②友達との関わりの中で、**他者とのぶつかり**も経験しつつ、少しずつ簡単なルールを守ったり、言葉で伝えあいながら**一緒に過ごすことの楽しさ**をたっぷり味わう。
- ③心に湧き上がる“**なぜ？**” “**どうして？**”などの興味・関心を**じっくりと探究**し、遊びに取り入れてみたりしながら、イメージを広げていく。

わいわい組 年間目標

- 1 わらす組での生活に慣れていきながら、心地よい**生活習慣や態度**を身に付けていく。(健康)
- 2 身の回りの環境(空間/物/人)と関わりながら、**自分で気付いたり考えたり**してやってみようとする。
(健康、環境)
- 3 さまざまな友だちと関わりながら、**それぞれの関係性**を結び、**お互いの良さや協力し合う喜び**を知っていく。
(人間関係)
- 4 さまざまなやりとりの中で**言葉への感覚**を豊かにし、**心地よい言葉**を選んで使ってみようとする。(言葉)
- 5 様々な環境やその中での経験を通して、**じぶんの好きなこと**を見つけ、じっくりと探究していく。
(環境)
- 6 身近な自然や生き物、素材、食、音楽、身体的な活動など、**さまざまな事物や活動との出会い**を通して、**イメージや感覚**を豊かにする。(環境、表現)

適切な援助（環境を通じた保育）

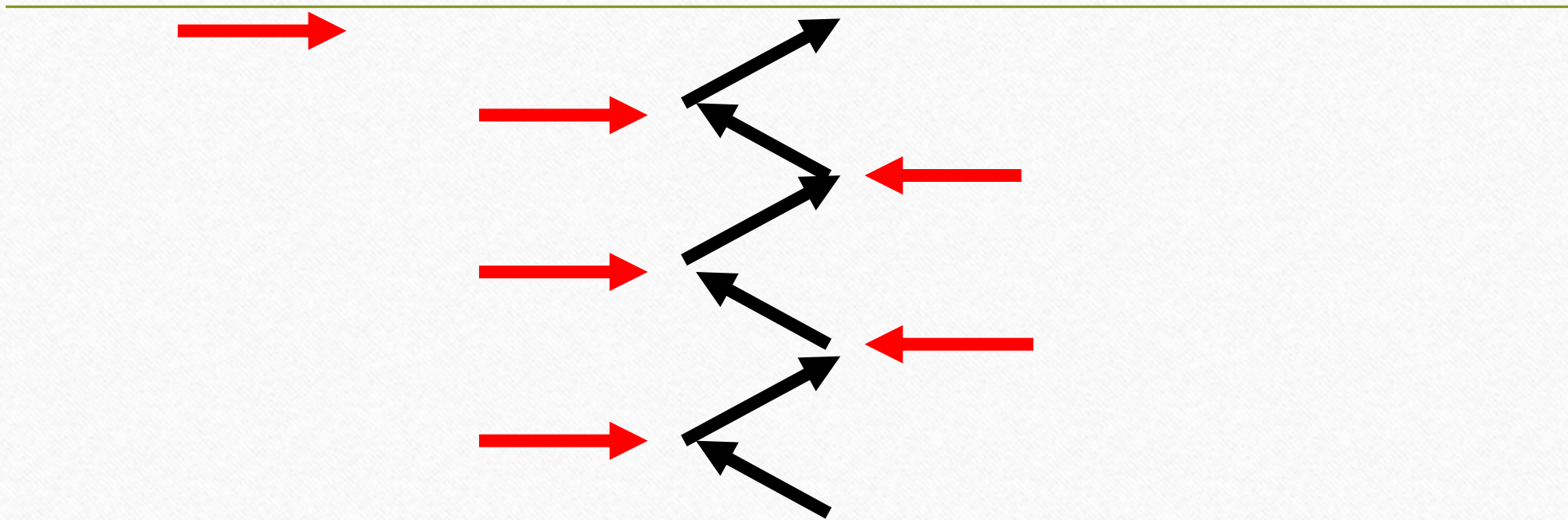


過干渉

親

目標

子ども



過保護

親

目標

子ども

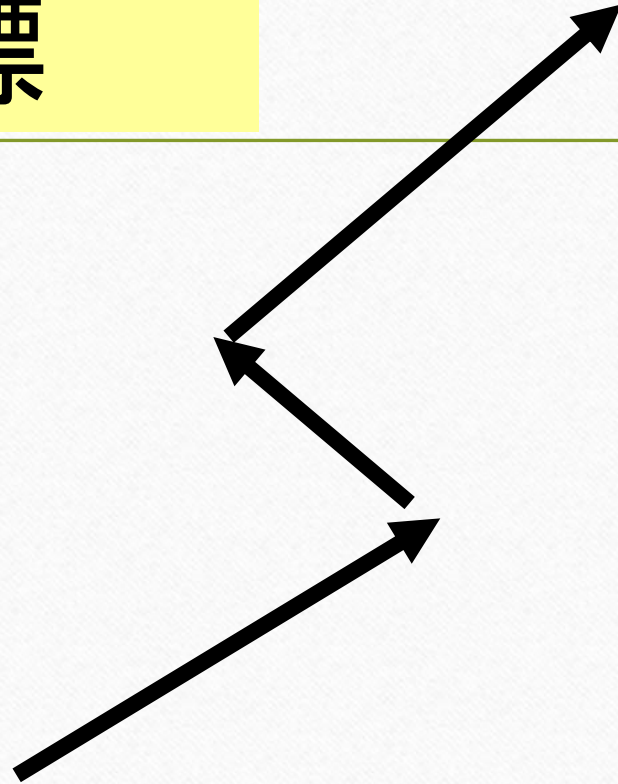


放任

親

目標

子ども



1 わらす組での生活に慣れていきながら、習慣や態度を身に付けていく。(健康)

●小さな集団から、ぐっと大きな集団へ…

保育園生活の中で最も環境の変化が大きな年ですね。

スモールステップではじめていく。⇒**わいわい組単独での時間**を多くとって過ごしていく予定。
(最初は園内や屋上での遊びなども増えるかと思います。)

●自分なりの体験を通して

体験とは、できるできないの結果ではなく、うれしい、たのしい、くやしい、かなしい、おこるなどの

心が動く瞬間

2 身の回りの環境(空間、物、人)と関わりながら、自分で気付いたり考えたりしてやってみようとする。(環境)

- 「自分でやってみよう」「自分で考えてみる」の体験を積み重ね、自らの手で心地よい生活を作っていく。にこにこ組のときよりも、大人との距離が離れていく時期。少しずつ、友だちに頼ったり、自分でやってみようとトライしたりする姿が増えていくように…。



3 さまざまな友だちと関わりながら、それぞれの関係性を結び、 お互いの良さや協力し合う喜びを知っていく。(人間関係)

●わらす組になると、らんすいの友だちも増え、新たな関係や関わりも生まれる。

⇒**お互い**に、“どんな子なのかな”と最初は相手のことがよくわからない・よく知らないことも多い。信頼関係もまだこれから。

●**関係性ができる前のおずかしさ**

⇒相手のことをよく理解しているときと、まだよく知らない相手の時とでは、受け取り方も変わってくる。

「わからない」からこそ、その時その瞬間の相手の言葉や態度がダイレクトに刺さってしまうこともあるかも…。⇒1月の保護者会でのエピソード(言葉)

3 さまざまな友だちと関わりながら、それぞれの関係性を結び、 お互いの良さや協力し合う喜びを知っていく。(人間関係)

●相手との関係や距離感を調整していく力

わらす組になると、子ども同士の世界の時間が多くなってくるので、そのぶん、大人の見えないところでのやりとりや友だち間での感情の揺れも増えてくることが予想されます。

⇒まだフォローが必要な部分

相手のこと・相手との「**違い**」を知っていきながら、**お互いの距離感**を見つけたり**関係性**を築いていったりする…子どもなりにその関係の調整をしていく体験も重ねていく。

⇒「**違い**」を知り、理解し、**生かし合っ**て過ごしていく力をつけていくことで、互いに育ち合う社会・協力し合える社会を作っていくことを目指していきたい

4 さまざまなやりとりの中で言葉への感覚を豊かにし、心地よい言葉を選んで使ってみようとする。（言葉）

- 色々な場面で、つい、強い言葉が出てしまったり、とがった言い方になってしまったり、投げやりな言い方になってしまったりすることもある…

⇒「言葉」というものに対する意識や感覚を持って過ごせるような関わりや環境。

言葉の持つ力って？心地よい言葉や伝え方って？

相手の存在を感じ取りながらのコミュニケーション。

⇒日々の小さな積み重ねの中で、「こんな言い方がうれしいな」「こんな言葉が心地よいな」経験を通して、その感覚を育んでいく。

5 様々な環境やその中での経験を通して、**じぶんの好きなこと**を見つけ、じっくりと**探究**していく。（環境）

●それぞれの子ども「おもしろい!」「もっと知りたい!やってみたい!」を大切に。

またやりたい!もっとやりたい!と、のめり込める感覚や体験。

⇒じぶんの「**好き**」を見つける。

好きなことがあること=そこで輝けること・生き生きとできること。自分の「好き」で世界を広げていけること。

子どもたちの「**自信**」にもつながっていくのではないのでしょうか…? ex)わらす組の野球

6 身近な自然や生き物、素材、食、音楽、身体的な活動など、
さまざまな事物や活動との出会いを通して、イメージや感覚を
豊かにする。

●色々なものごととの出会い

ただ触れるだけでなく、どのように出合っていくか。「探究」にもつながっていく。

ex) にこにこ組での食育

⇒その中でさまざまな体験を通して、感覚を豊かにする、表現の幅を広げる。

感じたこと、思い描いたこと、イメージしたことを自分なりに表現してみたり、そうして分かち合ってみたりする楽しさを味わっていく。（…言葉だけにとどまらない）

個の育ちと集団の育ち

●個の育ちと集団の育ち

「集団の育ち」

⇒単純に『まとまりとして見る』ということではない。

個々の発達+個の結びつき(個の関係のつながり)➡「集団の育ち」へ。

それぞれの子ども同士の関係性を築き、そのつながりをどれだけ深め、広げていけるか。

納豆のような集団!?『コーヒージョン』“この子はこれが得意だから聞いてみよう!” “こういうときはこの子に頼ろう”など…「探究」があるからこそ、その姿ともつながる関係

●目の前の結果ではなく、過程を大切に♪

こんな関わりも・・・

お兄さんお姉さんのやさしさに触れながら

-
- ・ セミバイキングやりたくないあ・・・（しょうた君、しおん君との関わりから）
 - ・ おもちゃ使いたい。ちょっとまってて（かい君、りなちゃん、りこさんの関わりから）
 - ・ こっちにいたいんだよ。（はるき君とゆいかさんとの関わりから）
 - ・ だいすきな お兄さんとの出会い（かなで君としおん君との関係）

などなど

持ち物に関するお知らせ・お願い

【上履きについて】

当初はご準備をお願いしておりましたが、室内履きとの使い分けが難しいお子さんも多いことから、現時点ではご用意いただかなくて大丈夫です。

なお、今までと同様には災害時の避難靴としての使用も検討しております。

【外靴について】

これまで同様、登園用と戸外遊び用を兼ねていただいて構いません。

新年度より、3階クラスに靴置き場を設置しますので、毎朝そちらへ置いてください。

この靴は、・屋上遊び ・避難時 ・一部の戸外活動 で使用いたします。

なお、公園等へ出かける際は玄関の靴を使用する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

【水筒】

引き続きご準備をお願いいたします。

持ち物に関するお知らせ・お願い

【うがい用コップ】

これまでと同様のもので大丈夫です。

【リュックサックについて】

子どもが自分で背負えるサイズのものをご用意ください。なお、斜めがけ水筒による転倒事故防止の観点から、園では水筒をリュックに入れて持ち運ぶことを想定しています。ただし、3歳児の発達段階ではまだ難しい面もあるため、リュックの使用は必須ではありません。秋頃を目安に、無理のない形で準備していただければと思います。

「自分で持ちたい」という気持ちがあるお子さんは、早めにご使用いただいても構いません。

【汚れ物袋】

これまでと同様のもので大丈夫です。

【出席スタンプ帳】

新年度に向けて園でご用意し、お渡しいたします。

登園時に日付欄へスタンプを押す活動を行いますので、毎日ご持参をお願いいたします。

【新年度の準備について】

進級にあたり、新たに必ずご用意いただくものは現時点では特にありませんので、ご安心ください。

- ・6月頃：プール活動（ラッシュガード等）
- ・秋頃：リュックの活用、上履きの用意 については、改めてご案内いたします。

なくなっている物、個人での管理
(誤飲注意)

園生活におけるお知らせ・お願い

●登園は朝9:15までをお願いします。

●午睡について

まだ午睡が必要な子が多いので、基本的には午睡をします。家庭と相談の上、必要に応じて調整していきます。

●活動記録について(ドキュメンテーション)

始めのうちは、進級後の心配もあるかと思うので、なるべく様子が分かるようにお伝えしたいと考えていますが、保育の振り返りや環境、準備など子どもの体験を重視させていただきます。

●運動ゾーンの綱で擦れてしまうことがあるかもしれません

あとから赤みが出てきたり、お家でお風呂のときにすれたところに気付いたりすることも。

ご理解いただきたいこと

- 学年やクラスで分けるのではなく、その子の発達に合わせ生活を作っていきます。

子ども自身が、「いま」自分が求めているもの、必要としているものを選んでいる姿。

+

保育者が、いまのその子に必要な環境を見極めて選んでいくこと。(信頼関係)

一人一人の姿や生活に寄り添い、成長をサポートしたいと思います。お家の方と共に、子どもたちの育ちを見守っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします!